



東北再生「私大ネット36」2017年夏 南三陸スタディツアー 参加のしおり Act2

■当日の集合等について

【日 程】 8月29日(火)～9月1日(金)

【集合時間・場所】

大正大学 3号館1階 7:30受付開始、8:00出発

- ・時間に余裕を持ってお越しください。
- ・天災、天候等の影響によりプログラムを中止する場合は、「私大ネット36」のホームページの「新着情報」でお知らせいたします。(URL <http://shidai-net36.jp/>)
- 出発前日⇒前日の17時に判断し掲載。
- 当 日⇒当日の朝に決定次第、掲載。

【参加費】

- ・参加費は、現地到着時に、現金にて徴収いたします。おつりの出ないようにご用意ください。
- ※キャンセルの場合は、その日の宿泊費の100%をご請求させていただきます。
- キャンセルが分かった時点でフィールド学習センターにお電話でご連絡ください。(電話が繋がらない場合はメールでご連絡ください。)
- ※参加費は大学によって補助が出る場合があるので、各大学の私大ネット36担当窓口にお問い合わせください。

【集合場所】



- 都営地下鉄三田線・・・西巢鴨駅下車 徒歩2分
- JR埼京線・・・板橋駅東口下車 徒歩10分

■持ち物について

- 参加費
- 健康保険証
- 印鑑
- 筆記用具(メモ帳、ノート)
- 洗面道具(タオル、歯ブラシ他)
- 寝間着
- 動きやすい靴
- 帽子(熱中症対策)
- レインコート
- デジカメ(スマホでも可)
- デジカメやスマホのデータをパソコンに取り込むケーブル
- 2日目の交流会飲み物代(500円程度の予定)
- ノートパソコン
- エプロン
- 三角巾

あると望ましいもの:ICレコーダー、常備薬、USBメモリ、延長コード、虫よけ、かゆみ止め、日焼け止め

■緊急連絡先・お問合せ先

引率職員(伊藤):
080-3914-5442 (プログラム中のみ)
南三陸まなびの里いりやど:0226-25-9501

【お問合せ】
東北再生「私大ネット36」事務担当
大正大学 地域構想研究所事務部 フィールド学習センター
mail: info@shidai-net36.jp tel: 03-5394-3062 fax:03-5394-3055
土日の緊急連絡はメールをご利用ください。

■夏期スタディツアー参加時の注意点

現地では以下の事項を忘れることなく活動してください。

<体調管理>

体調は万全で臨み、自己管理に努めること。また、体調に異常を感じた場合は、なるべく早く現地職員または引率教員に申し出、無理はしないこと。

<危機管理>

- (1)フィールドワーク中、危険と思われる場所には立ち入らないこと。冠水時・積雪時は特に気を付けること。迷子になってしまった場合、時間までに戻れそうにない場合は早めに現地職員または引率教員に連絡すること。
- (2)地震発生時には、即座に正しい情報の把握に努め、高台に避難すること。自分の身は自分で守ること。

<生活態度>

- (1)一人の行為が、大学全体の行為ととられることをよく自覚し、節度ある行動を心がけること。
- (2)町内、また研修センター内において、騒がしくして住民の方や他のお客様に迷惑をかけること。
- (3)門限(22時)は厳守し、それ以前でも夜間は一人では出歩かないこと。
- (4)未成年の学生は絶対に飲酒しないこと。また、夜遅くまで起きていて次の日に活動に差し障ることのないよう、節度を守ること。

<現地で活動するときの注意点>

(1)相手の気持ちを第一に考えましょう

直接受けた被害の大きさに関わらず、みな多かれ少なかれ心の傷を負っています。震災のことやプライベートなことをきいたり、写真撮影をしたりするときは、相手や周囲の方々の気持ちを第一に考えましょう。また、自分にとっては一度の訪問でも、相手は何度も同じことを聞かれている可能性もあります。

(2)自分が地域からどう見られているかを考えましょう

自分は自分のつもりでも、地域の方からは「〇〇大学の学生」「いりやどに泊まっている人」「あの人から紹介された人」というふうに見られます。現地で評判を落とすと、地元の方や後に活動する学生にまで迷惑をかけることにもなります。

(3)現地の方の話は真剣に聞きましょう

スタディツアーでは、様々な経験をすることによる疲れが溜まると思います。現地の方の話を聞いている途中で寝ていたりすることがないようにし、万が一、寝ている、話をしているのを見つけたら互いに起こしたり注意するようにしましょう。

(4)「学ばせていただく」気持ちを大切に

目的を持って学びにくる学生に対して、地域の方は自分の仕事や生活の時間を割いて対応してくださっています。また、ボランティア活動であっても、「してあげる」気持ちではなく、「自分が学ばせていただく」という気持ちで取り組んでください。

Act2: 8/29(火)～9/1(金)

風土とフードをめぐる コミュニティデザイン

引率教員

捧 公志朗

(こども教育宝仙大学こども教育学部 幼児教育学科 教授)

南三陸町は海と山の自然環境とその豊かな恵みを保持する町です。そうした風土に培う食文化は産業への展開だけでなく、過去の震災を乗り越えてきた地域の生活文化やコミュニティの形成にも結ばれてきました。今回のAct2では、町の方々と食の交流から南三陸の風土や文化を学び、その成果を新たなコミュニティづくりのためのツールとしてデザインしていきます。プログラムを通じ、南三陸町と自分をつなぐクリエイティビティを体験して下さい。

研究の専門領域は美術ですが、料理をすることや食事を楽しむこともとても好きです。今回のActは「環境」と「食」と「人」がつながるプログラム。一緒に南三陸を味わう旅を楽しみましょう。



■ 詳細スケジュール

事前研修 8月3日(木) 10:30～15:00	(ランチミーティングを含む) 場所:こども教育宝仙大学 3号館321教室 内容:ツアーのオリエンテーション プログラム実施のためのグループワーク
8月29日(火)	8:00 大正大学出発
	14:30 いりやど到着
	15:00 DVD視聴、町内視察
	18:00 夕食
	19:30 ワークショップ①(塩の入れ物の制作)
8月30日(水)	8:00 朝食
	9:00 入谷トレイル
	14:00 塩づくりワークショップ
	17:00 交流会準備
	18:00 交流会
	19:30 ワークショップ②(写真撮影について)
8月31日(木)	8:00 朝食
	9:00 インタビュー事項の確認
	10:30 昼食づくり、インタビュー
	15:00 各グループでまとめ
	18:00 夕食
	19:30 各グループでまとめ
9月1日(金)	8:00 朝食
	9:00 中間発表
	11:30 昼食(さんさん商店街)
	13:30 いりやど出発
事後研修 9月30日(土) 13:00～17:00	場所:こども教育宝仙大学 内容:プログラムのまとめ、ツールのデザインワーク

MEMO

■ 地震発生時の避難先について

避難先については以下のURLもしくはQRコードを読み取って確認をしてください。

南三陸町防災マップ

<http://www.town.minamisanriku.miyagi.jp/index.cfm/30,9669,100,html>

